

日時・場所	令和7年4月14日（月）13時30分～ 庁議室
出席者	櫻本市長、北脇教育長、辻議会事務局長、井狩政策調整部長、小池政策調整部政策監、川尻総務部長、西村市民部長、井出健康福祉部長、北田健康福祉部政策監、駒井健康福祉部政策監、布施都市建設部長、中塚環境経済部長、田中教育部長、事務局

1. 開会

<市長挨拶>

新年度が始まり2週間経過した。部長の皆さんに2点お願いしたいことがある。

1点目は、そろそろ疲れが出てくる頃なので、新規採用職員が孤立することの無いよう目配りしてほしいこと、また異動した職員についても同様に配慮してほしい。なお、人事異動により業務に困難が生じているような場合は、早めに相談してほしい。

2点目は、先週近畿地方整備局に伺い、職員の派遣に対するお礼と新年度の挨拶を行った。大津湖南幹線の開通、そして今後の国道8号バイパスの開通やM I Z B Eステーションの整備を踏まえ、先を見越して業務を進めてほしい。

また、注意していただきたいこととして、年度末から年度当初にかけて事務ミスが散見された。人事異動等もありあわただしい時期でもあるので、一層注意すること。さらに、公用車・私用車問わず交通事故が無いよう注意すること。これらの点について部内で共有願う。

2. 議題

【報告事項】

①野洲市の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担について

公職選挙法施行令の一部を改正する政令が令和7年4月1日に施行されたことに伴い、関連する条例の整備を図るため所要の改正を行う。

→特に意見・議論等はなかった。

②野洲市キャリアリターン制度について

育児や介護等の事情により、やむを得ず本市を自己都合退職した職員が、再び公務に復帰しやすい環境を整え、在職中に培った職員としての知識、技能を活かし、即戦力として再度活躍してもらうことで、本市の人材不足を解消し、行政の質の向上を図ることを目的として、元職員の再採用制度（キャリアリターン制度）の導入について報告する。

<共有>

- ・人事課によるキャリアリターン採用選考の公告については、毎年実施するものではなく、当該年の組織体制により募集するかどうか決定するものである。
- ・定員管理計画に基づく新規採用職員の募集を前提に、本制度は、内定辞退や急な退職があった場合等、通常の計画で採用できない年や、市として強化して進める事業がある時等にこの制度を活用する予定である。
- ・本制度は県内においては、滋賀県、守山市、近江八幡市、甲賀市が導入済みである。

<意見>

- ・本制度は条例ではなく規程の定めで問題ないか。

→（会議後追記）

確認した結果、内部手続きを示すものであることから、規程のままで良い。

③野洲市 DX 推進ロードマップの策定について

国によるデジタル社会形成基本法の制定やデジタル庁の設置に伴い、本市でも、デジタル技術を活用したサービス導入や行政事務の改革を進め、職員の業務負担軽減と人材不足への対応を図るとともに、持続可能な行政運営を実現し、市民サービスの向上を目指し、ロードマップを策定したので報告する。

<共有>

- ・ロードマップにおける全体計画と具体的な取組事項との整合性については改めて整理する。
- ・本市のDXの推進状況については、進んでいる部分もあればそうでない部分もあるので、一概には言えないが、今般ロードマップを作成することで国の示すデジタル化の推進に係る一般的な取組は網羅できる。
- ・ロードマップの取り扱いについては、現行のオンラインプロジェクトチームの枠組みを活用し、今後は具体的なプロジェクトチームの立ち上げが必要になると考える。

④野洲市民病院整備事業（医療ガス設備工事）の契約締結について

野洲市民病院整備事業において分離発注としていた「医療ガス設備工事」について、4月3日に一般競争入札を実施し、契約を締結した。これにより新病院の建築工事に関わる一旦の契約をすべて締結できたことを報告する。

→特に意見・議論等はなかった。

⑤保育園・幼稚園・こどもの家等の入園・入所状況等（令和7年4月1日現在）及び野洲市三方よし人材バンク等の実績について

令和7年4月1日現在の保育園・幼稚園・こどもの家等の入園・入所状況について、報告する。

<共有>

- ・保育士確保に係る事業については、派遣会社による保育士の派遣を導入しており、今後徐々に充足させる。
- ・こどもの家の入所児童数は今後増加すると思われるが、空き教室の利用等で定員を増やすことで対応する予定である。

⑥全員協議会への提出事項

3. 次回部長会議の予定

4月21日（月）13時30分～ 庁議室

4. 閉会